

GLAPの教育目的

『自ら考え、行動し、世界と共に生きる「グローバル・リーダー」』を育成すること。
 「グローバル・リーダー」とは、どのような立場や環境にあっても自身の持つ力を最大限に発揮しながら周囲と協働することができ、かつ豊かな感受性と知性を有し、他者を尊重し寄り添う中で、世界の新たなあり方を見据え、自ら考える能力と人間性を備えた人材のことである。

学修成果

「学士(学術)」を授与される学生は、以下のような能力を有する。
 1. 課題に正面から向き合い、問題の本質を論理的に解明するための柔軟な思考力を身につけることができる。
 2. 幅広い知識と教養を有し、自身の行動を批判的に内省し、実践することができる。
 3. 異なる文化及び習慣を持つ人々と適切な人間関係を構築し、協働することができる。
 4. 英語によるプレゼンテーション、ディスカッション、論文執筆を高いレベルで行うことができる。
 5. 自律的に考え、様々な分野・問題において学び続け、実践し続けることができる。

GLAPのカリキュラム

GLAPの学修成果との関連

(◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)

科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1. 課題に正面から向き合い、問題の本質を論理的に解明するための柔軟な思考力を身につけることができる。	2. 幅広い知識と教養を有し、自身の行動を批判的に内省し、実践することができる。	3. 異なる文化及び習慣を持つ人々と適切な人間関係を構築し、協働することができる。	4. 英語によるプレゼンテーション、ディスカッション、論文執筆を高いレベルで行うことができる。	5. 自律的に考え、様々な分野・問題において学び続け、実践し続けることができる。
必修科目								
Tutorial(学びの技法)								
Tutorial 1・2	必修科目	1	テキストの講読、口頭発表、履修者間での討論、授業期間中に複数回提出が求められる課題エッセーの執筆等を通じて、批判的な読解力や分析的な思考力を涵養する。	◎	△		◎	△
学びの精神								
Liberal Arts in Higher Education	必修科目	1	高等教育の中でリベラルアーツがどのように位置づけられてきたのかを学ぶことで、自身が学ぶリベラルアーツについて理解を深め、その特徴を理解することができる。	◎	△			△
GLP基礎科目								
GL111	必修科目	1	少人数のグループに分かれてのディスカッションや課題への取組を通じ、チームが成果を出すために必要なかわり方や、リーダーシップの発揮方法を身につけることができる。	△		◎	△	
GL202	必修科目	2	少人数のグループに分かれてのアクション・ラーニングやコーチングによって簡単かつシンプルな質問力を身につけ、リーダーシップを発揮することができる。	△		◎	△	○
Second Year Seminar								
Second Year Seminar	必修科目	2	課題研究に取り組むなかで、Tutorial科目で培った学びの技法をさらに伸ばし、思考力を高めることができる。	◎	△		◎	△
Global Studies Essentials								
Globalism and Humanities	必修科目	2	宗教・思想、言語、芸術・文化、文化人類学、ジェンダー、地域研究について概念的・理論的基礎や資料の収集や利用方法を身につけることができる。	△	◎	△		○
Citizenship Education	必修科目	2	グローバル化によって生じる環境問題、持続可能性の問題、人間の福利への影響などについて理解し、責任ある市民としての立場で解決策を模索することができる。	△	◎	△		○
International Business	必修科目	2	ビジネスの国際展開について、具体的な事例と理論的な枠組みを広く理解し、多様な視点を身につけることができる。	△	◎	△		○
選択科目								
英語リベラルアーツ(ELA)科目								
World History	選択科目	1~4	グローバルな文脈で見た世界の歴史において、いくつかのトピックを掘り下げて深く学ぶことで、歴史についての多様な視点や思考力を身につけることができる。	△	◎	△		○
Culture and Fine Arts	選択科目	1~4	人間が持つ文化の本質的部分としての芸術に関して、いくつかの課題を設定し、検討することで、文化や芸術に対する多様な視点や思考力を身につけることができる。	△	◎	△		○
Political Sociology	選択科目	1~4	社会学における国家、社会、市民に関するいくつかの課題に焦点を当てて学ぶことで、政治社会学についての理解を深めることができる。	△	◎	△		○
Nature of the Earth	選択科目	1~4	自然科学における地球の科学的調査から導き出される課題について学ぶことで、自然科学についての理解と、多角的な視点を身につけることができる。	△	◎	△		○
Literature and Society	選択科目	1~4	様々な文学作品と、その社会的背景に焦点を当てて学ぶことで、文学作品と社会の関係を多角的に考察できるようになる。	△	◎	△		○
Economic Thought	選択科目	1~4	思想家、学者、一般市民が経済や経済問題をどのように考えてきたか、また、考えているか、思想的観点から経済を考察することで、経済に関する多様な考え方を身につけることができる。	△	◎	△		○
Health and Wellness	選択科目	1~4	2つの健康、人間としての健康と人生における健康について、授業にて紹介される課題について学ぶことで、健康を様々な観点から考える能力を身につけることができる。	△	◎	△		○
GLAP夏季短期集中プログラム科目								
University Education in the World	選択科目	1~4	現代における高等教育の歴史、特にアジアと西洋諸国の教育スタイルや高等教育の動向について学ぶことで、世界の高等教育を理解し、様々な国で学ぶための素養を身につけることができる。		○	◎	△	△
University in Modern Society	選択科目	1~4	現在の米国等の高等教育の現状や社会における役割について学び、日本の状況と比較し、議論することで、現在社会における大学の役割や抱える課題を理解することができる。		○	◎	△	△
海外留学研修								
Study Abroad 1・2	選択科目	2・3	留学生活を通して、世界に展開するリベラルアーツ教育を経験する。これにより多様な文化の存在と異文化間コミュニケーションの重要性を認識し、世界のグローバルな展開に対応するための基礎力を体得する。		○	◎	○	○
Global Studies Electives								
Global Studies Pre-Seminar	選択科目	2	グローバルな問題意識をもって自分で研究課題を設定して、調べ、考える経験を通して、3年次以降の専門的な学修に必要とされる思考力や問題解決能力を身につけることができる。	○	△		△	◎
自由科目								
Liberal Arts Japanese	自由科目	2~4	日本語を母語としない学生が大学での学びに必要な日本語運用能力を身につけ、より高めることができる。	○		◎		